



令和7年11月5日
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所

FLOWCONが港湾空港技術研究所を視察

～浮体式洋上風力建設技術の発展に向けた連携強化～

10月24日（金）、FLOWCON（浮体式洋上風力建設システム技術研究組合）の幹部および構成企業の技術者の皆さんを迎え、所内実験施設の視察および意見交換会を開催しました。

本視察は、令和7年10月1日付で締結されたFLOWCONと港湾空港技術研究所・CDIT（沿岸技術研究センター）・SCOPE（港湾空港総合技術センター）とのアドバイザー協定に基づく連携の一環として実施されたもので、浮体式洋上風力発電の建設分野における研究・技術交流の一層の深化を目的としています。

FLOWCONは、我が国の浮体式洋上風力発電事業の拡大を見据え、建設、鉄鋼、造船、揚重機企業が集結し、令和7年1月に国土交通省の認可を受けて設立された技術研究組合です。海上施工の観点から着床式並みの大量急速施工と合理的な建設コストの実現に取り組みます。

港湾空港技術研究所は、港湾施設・海洋構造物の整備に関する技術研究における中核機関として、これまで洋上風力発電の調査・設計に関する基盤研究を進めており、FLOWCONとの連携・協力により、研究知見の社会実装・現場展開の加速が期待されているところです。

引き続き、アドバイザー協定における関係機関の連携を通じて、当研究所とFLOWCONの双方が保有する技術的知見や課題意識を共有し、浮体式洋上風力発電の施工合理化や安全性向上に資する研究活動を進めていくとともに、我が国の洋上風力建設分野の競争力強化に寄与することを目指します。

【参考】

浮体式洋上風力建設システム技術研究組合（FLOWCON：Floating Offshore Wind Construction System Research Association）公式サイト：<https://flowcon.or.jp/>

【問い合わせ先】

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
洋上風力建設システム技術研究開発推進室
特別研究主幹 中川 研造
研究計画官 村田 一城
TEL：080-2175-3441



写真 1 集合写真



写真 2 施設見学会（遠心模型実験装置）



写真 3 港空研の研究紹介（加島海洋利用研究グループ長）